

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
1. 什器備品は定率法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
1. 貸倒引当金  
債権の貸倒れによる損失に備えるため、法定繰入率(6/1000)によって算定した期末回収不能見込額を計上している。
  2. 退職給付引当金  
従業員の退職給付に備えるため、退職給与規程に基づく期末要支給額を計上している。
  3. 賞与引当金  
従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給規程に基づいて算定した支給見込額のうち、当期に帰属する支給額を計上している。
  4. 修繕引当金  
ホームページの改修に備えるため、委託業者からの見積もり額のうち、当期に帰属する支給額を計上している。
- (3) リース取引の処理方法  
所有権移転外ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職積立預金	19,030,888	2,445,634	0	21,476,522
小 計	19,030,888	2,445,634	0	21,476,522
合 計	19,030,888	2,445,634	0	21,476,522

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
退職積立預金	21,476,522		0	21,476,522
小 計	21,476,522	0	0	21,476,522
合 計	21,476,522	0	0	21,476,522

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	8,190,000	8,190,000	0
什器備品	4,375,157	4,375,157	3

### 5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末 残高	債権の当期末残高
未収金	2,184,516	6,865	2,177,651

## 附 属 明 細 書

### 1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職積立預金	19,030,888	2,445,634	0	21,476,522
	特定資産計	19,030,888	2,445,634	0	21,476,522
その他固定資産	什器備品	3	0	0	3
	運営基盤強化定期預金	20,800,000	0	0	20,800,000
	その他固定資産計	20,800,003	0	0	20,800,003

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	5,697	6,865	5,697	0	6,865
賞与引当金	1,113,668	1,143,085	1,113,668	0	1,143,085
修繕引当金	1,704,320	1,045,000	356,400	0	2,392,920
退職給付引当金	19,030,888	2,445,634	0	0	21,476,522